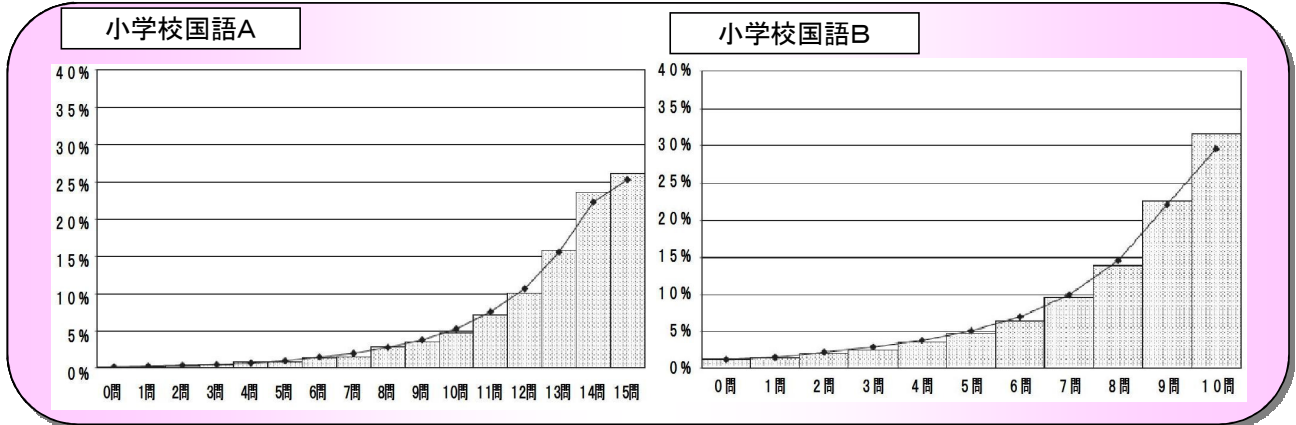


平成22年度 全国学力・学習状況調査
埼玉県全体の調査結果 小学校・国語

■埼玉県全体の正答数分布 ※棒グラフが埼玉県、折れ線グラフが全国の分布 横軸：正答数 縦軸：児童の割合



■学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率(推計値)

単位は%

領域	年度	小学校国語A		小学校国語B	
		埼玉県平均	全国平均	埼玉県平均	全国平均
話すこと・聞くこと	H22	84.4	83.2	75.9	75.4
	H21	68.3	68.0	61.5	61.3
	H20	78.0	76.1	75.1	73.0
	H19	57.4	56.6	72.1	70.9
書くこと	H22	69.4	67.7	91.9	91.6
	H21	86.1	85.4	15.8	14.5
	H20	54.2	53.3	50.7	49.1
	H19	85.7	85.3	64.1	61.7
読むこと	H22	75.7	74.1	75.4	73.4
	H21	70.2	68.7	56.9	56.5
	H20	45.1	44.5	49.9	48.3
	H19	68.8	67.3	59.9	57.7
言語事項	H22	86.3	85.8	74.9	73.0
	H21	64.1	64.2	59.4	59.7
	H20	65.8	65.2		
	H19	87.2	86.8	78.7	77.0

問題形式	年度	小学校国語A		小学校国語B	
		埼玉県平均	全国平均	埼玉県平均	全国平均
選択式	H22	81.8	80.8	76.0	75.3
	H21	81.0	80.1	66.8	65.8
	H20	56.6	55.7	48.5	47.5
	H19	82.4	81.6	65.2	62.8
短答式	H22	85.3	84.6	91.9	91.6
	H21	65.7	65.9	48.6	48.7
	H20	69.9	69.2	51.3	51.0
	H19	82.2	81.8	63.9	62.4
記述式	H22			75.3	73.5
	H21	68.3	68.0	46.5	46.0
	H20			53.7	51.3
	H19			64.2	62.1

抽出調査であることを踏まえ、平成22年度の平均正答率は、すべて推計値で示している。

■小学校国語の状況 ◇…相当数の児童ができている点 ◆…課題のある点 []は出題番号を示す

話すこと・聞くこと

◇(A)聞き手が理解しやすいように、話の全体の構成を工夫することは、相当数の児童ができている。[A6]

書くこと

◇(B)目的や意図に応じて、読み手が評価した意見の共通点や相違点を整理し、自分の表現の効果を確かめたり工夫したりすることは、相当数の児童ができている。[B1]

◆(A)文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書くことに課題がある。[A4]

読むこと

◇(B)物語を読んで思ったことや考えたことを、理由を明確にしてまとめて書くことは、相当数の児童ができている。[B2二]

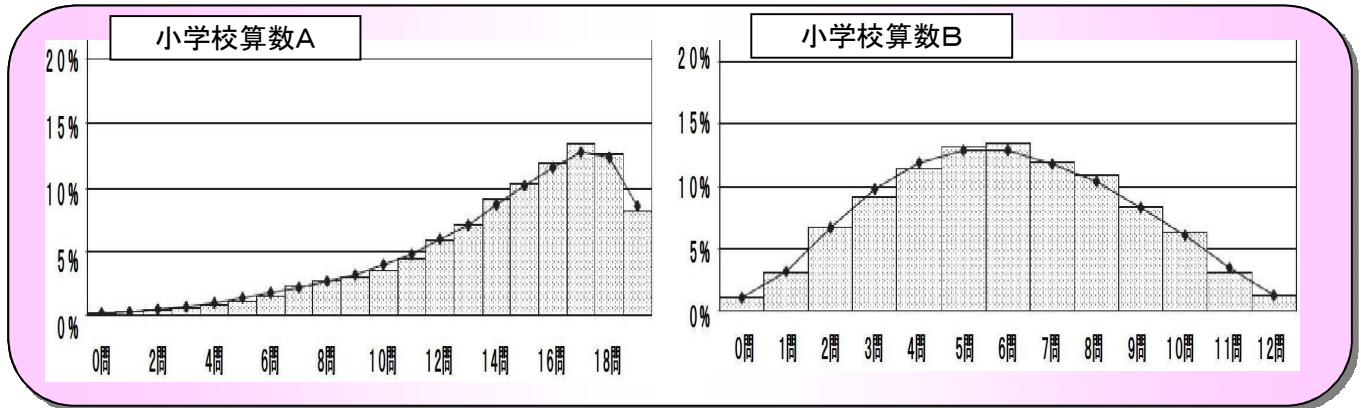
◆(A)文学的な文章に登場する人物を、相互に関係付けて読むことに課題がある。[A3]

言語事項

◇(A)小学校第5学年までに配当されている漢字を正しく読んだり書いたりすることについては、相当数の児童ができている。[A1]

平成22年度 全国学力・学習状況調査
埼玉県全体の調査結果 小学校・算数

■埼玉県全体の正答数分布 ※棒グラフが埼玉県、折れ線グラフが全国の分布 横軸：正答数 縦軸：児童の割合



■学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率(推計値)

単位は%

領域	年度	小学校算数A		小学校算数B	
		埼玉県平均	全国平均	埼玉県平均	全国平均
数と計算	H22	75.2	74.1	56.5	55.8
	H21	81.0	82.8	56.5	55.8
	H20	77.5	76.8	66.3	65.2
	H19	81.2	81.5	58.9	58.6
量と測定	H22	73.5	74.1	33.8	33.3
	H21	77.3	78.5	60.6	59.9
	H20	55.5	56.2	53.9	53.3
	H19	85.9	86.1	58.0	58.0
図形	H22	83.8	83.1	42.8	42.0
	H21	80.3	81.3	57.5	56.4
	H20	72.1	72.7	61.9	61.2
	H19	86.0	86.1	72.9	72.5
数量関係	H22	66.2	65.7	54.0	54.3
	H21	64.3	64.2	57.4	56.8
	H20	72.0	72.4	45.7	44.9
	H19	75.9	75.4	65.8	65.5

問題形式	年度	小学校算数A		小学校算数B	
		埼玉県平均	全国平均	埼玉県平均	全国平均
選択式	H22	77.3	76.5	59.4	59.1
	H21	73.3	76.7	69.9	68.9
	H20	57.2	57.5	62.9	62.1
	H19	77.0	76.5	73.5	73.0
短答式	H22	73.1	72.8	69.3	69.0
	H21	79.1	79.5	64.5	63.7
	H20	77.7	77.4	75.1	74.0
	H19	83.8	84.1	74.2	73.7
記述式	H22			31.8	31.6
	H21			37.3	36.8
	H20			28.5	27.7
	H19			44.9	45.0

抽出調査であることを踏まえ、平成22年度の平均正答率は、すべて推計値で示している。

■小学校算数の状況 ◇…相当数の児童ができている点 ◆…課題のある点 []は出題番号を示す

数と計算

◇(A) 整数、小数、分数の四則計算は相当数の児童ができている。[A 1(1)~(5)]

◆(A) 商が1よりも小さくなる場面で、除法が用いられることを理解することに課題がある。[A 2(1)]

◆(A) 数量を等分したときの1つ分を分数で表すことに課題がある。[A 2(2)]

量と測定

◇(A) 示された角の大きさを求めることは、相当数の児童ができている。[A 5(1)]

◆(B) 平行四辺形に対してなされた説明を解釈し、それを台形に適用して、説明することに課題がある。

[B4]

図形

◇(A) 立方体を展開図から構成することは相当数の児童ができている。[A 6]

◆(B) 平面上にかかれた立体図形や平面図形を基に長方形を考えて記述することに課題がある。[B2(1)]

◆(B) 示された図や考えを基に、長さの大小を判断し、その理由を書くことに課題がある。[B6(2)]

数量関係

◇(B) 円グラフから、必要な情報を読み取ることは相当数の児童ができている。[B3(1)]

◆(B) 割合が一定の場面で、比較量が最も大きくなるときの基準量を判断し、その理由を記述することに課題がある。[B5(2)]